

発行 清田地区町内会連合会

〒004-0841 清田区清田1条2丁目

TEL:883-7600 FAX:883-8057

清澗あしひの

清田地区町連創立53年、平成30年度が始まって

清田地区町内会連合会会長 牧野 晃



各町内会の皆さん方には、日頃より、町連活動に対しまして全面的なご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。今年度もよろしくお願いたします。

さて、私達が日頃より力を入れている課題に、「安心・安全なまちづくり」があります。具体的に、その一つは、「大規模災害時の避難支援体制」づくりです。

これは、東日本大地震と津波による犠牲者の多くは、高齢者や障がいのある方々であったことから、避難支援組織をつくることを条件に、札幌市から支援を必要とする人の名簿の提供を受け、各町内会では、困難を乗り越え積極的に取り組んでいただき、ほと

んど町内会で「支援組織づくり」の完成をおおむね見たところです。いざ、という時に「誰が誰を助けるか」を常に確かなものにおかねばなりません。

二つは、子ども達の安全を守る課題です。5月初旬に、新潟で小学校低学年の女児が、誘拐、殺害され、遺体を列車事故に見せかけようと線路に置いた事件が起き、子どもの安全をどう守るか、大きな問題になりました。

5月16日(水)、UHBテレビの取材を受けました。清田は「子どもの安全を守る」活動を組織的にしている町連と聞いて、取材したいとのことでした。

取材の記者に話したことは、この活動は、防犯ボランティアとして平成18年から始められ12年間続いていること。毎日、子ども達の登下校時に見守りをしていること。私たちは「地域の子どもの安全を守る」をモットーに今後も続けたいと考えていること。このような活動は、全市的に希な活動で、高く評価されました。

子ども達の安全のため、皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

今年もゴミ不法投棄パトロール 古いテレビ2台回収!

清田地区町連保健衛生部



▲捨てられたテレビを回収



▲回収したテレビ



▲投棄されたテーブルを発見、回収

清田地区町内会連合会は6月18日(月)、真栄、有明方面でゴミの不法投棄パトロールと不法投棄ゴミの撤去作業を行いました。

作業に当たったのは、清田地区町連保健衛生部のメンバーら10人。清田まちづくりセンターに集合し、車に分乗して出発。国道36号線沿いの美しが丘1条1丁目付近の草むらを皮切りに、真栄3条の厚別川沿いの草むら、有明のふれあいの森駐車場、白旗山登山口駐車場、アンデルセン福祉村付近の旧パークゴルフ場駐車場の各草むら、真栄の真栄川に架かる真成橋第1号橋たもとの草むら

などをパトロールしました。

真成橋第1号橋たもとの草むらでは、古いブラウン管テレビ2台が捨てられていたのを発見、回収しました。このほか、古テーブルや日用品、空き瓶、空き缶なども回収しました。

清田地区町連は毎年6月と10月の2回、地域の不法投棄ゴミのパトロールを実施しています。今回も、ゴミの回収と共に、「ゴミの不法投棄は法律により処罰されます」と書いた札幌市環境局ののぼりを所要所に立て、注意喚起を図りました。



清田地区町内会連合会とは

清田地区町内会連合会(清田地区町連)は、12の単位町内会で構成しています。

清田、清田有楽、新平岡、真栄第一、真栄第二、真栄第三、真栄第四、東真栄、真栄団地、美しが丘、有明、シアス羊ヶ丘通りの12町内会です。

エリアは、清田区役所や区民センターがある辺りから、清田の一部、真栄、美しが丘の一部、有明など広範囲に広がっています。

清田地区町連は、加盟する単位町内会とともに、環境美化や防犯防災、高齢者福祉や子育て支援、青少年育成、交通安全、地区スポーツ事業、広報活動など諸事業に取り組んでいます。清田区役所など行政との連携も図り、地域のまちづくりに共に

取り組んでいます。

事務局は、清田まちづくりセンター(清田区民センター内)内にあり、清田まちセン職員が清田地区町連と加盟する町内会の業務のサポートをしてくれています。

清田地区町連は、トップに会長と副会長3名がいます。その下に総務、財務、保健衛生、防犯防災、福祉厚生、交通安全対策、青少年育成、女性、体育、広報の10部体制で活動しています。

清田地区の各種団体、学校、企業、福祉施設、NPO法人など27団体で構成している「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」は清田地区町連が事務局になっており、その活動をけん引しています。

地下鉄清田延伸を求める活動を行っている地下鉄東豊線建設促進期成会連合会の事務局も清田地区町連が担っています。同期成会は、清田区5町連、豊平区5町連、清田地区商工振興会、札幌清田ライオンズクラブの計12団体で構成しています。

清田地区町連は昭和40年に発足しました。昔は農事実行組合が地域の課題に対応していましたが、昭和35年ころより清田地区も宅地開発が

始まり人口が増え始めました。それにより部落会さらには町内会が結成されるようになり、昭和40年に清田地区町連が発足しました。

当時、清田地区町連は今の清田地区全域を範囲としていましたが、人口増加とともに順次、北野、清田中央、平岡、里塚・美しが丘の各地区がそれぞれの町連として分離独立していき、清田地区町連は現在、前述のエリアと町内会構成になっています。

清田地区町内会連合会を組織する町内会(12町内会)

- 清田町内会
- シアス羊ヶ丘通り町内会
- 清田有楽町内会
- 新平岡町内会
- 真栄第一町内会
- 真栄第二町内会
- 真栄第三町内会
- 真栄第四町内会
- 東真栄町内会
- 真栄団地町内会
- 美しが丘町内会
- 有明町内会

安心して暮らせるまちづくりを進めよう!

清田地区町連 平成30年度定例総会



清田地区町連は4月21日(土)、平成30年度定例総会を清田区民センターで開催しました。加盟する12町内会から計58名が出席しました。

はじめに、牧野晃会長が挨拶し、「ここ2、3年、清田地区町連は、大規模災害時の避難支援体制づくりと、高齢者の見守り・孤立死を出さない取り組みに力を入れています。誰も

が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと思います」と述べました。

続いて、平成29年度事業報告と決算報告を行い、さらに平成30年度事業計画案と予算案を提案、満場一致で承認しました。

また、役員改選を行い、新しく副会長に住吉誠一氏(真栄第一町内会)、監事に設楽省三氏(真栄第四町内会)を選出しました。

総会終了後は恒例の懇親会を行いました。懇親会には、今年4月に着任した小角武嗣清田区長ら清田区の幹部職員をはじめ地元選出の国会議員、道議、市議も出席し、懇親を深めました。



▲平成30年度定例総会=清田区民センター

清田地区住民と清田区役所が意見交換

清田地区懇談会を開催



清田地区懇談会が5月24日(木)夜、清田区民センターで開催されました。町内会や地域の団体、企業、学校関係者と、清田区長はじめ区役所幹部職員らが参加し、清田地区のまちづくりの取り組みについて情報交換や意見交換をしました。

はじめに、清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会(牧野晃会長)の全体会議が行われ、平成30年度の事業として前年度に引き続き、避難所体験訓練や不法投棄パトロール、きよたまちの灯りin真栄小・真栄中、防犯ボランティアなどの取り組みを行うことを決めました。

清田地区住みよい安心安全なま

ちづくり協議会は、町内会だけでなく地域の企業や学校、福祉施設、NPO法人なども一緒になってまちづくりを進めようと平成21年に発足した団体です。清田地区町連をはじめ清田地区の27団体で構成しています。

続いて、清田区の小角武嗣区長と担当職員から、緑豊かな安心安全なまちづくりの推進や認知症対策の強化など清田区の重点事業の説明がありました。



▲清田地区懇談会の様子

清田地区社会福祉協議会 定例総会

福祉のまち推進センター



清田地区社会福祉協議会の平成30年度定例総会が5月17日(木)、清田区民センターで開催されました。

牧野晃会長より30年度の事業運営方針の説明が次のようにありました。

「札幌市の高齢化率は平成30年4月1日現在26.3%で、少子高齢社会が確実に進んでおり、一方、清田区は27.1%と市の高齢化率を越えた状況にあります。当清田地区社会福祉協議会は『人に優しいまちづくり』を目標に、『福祉のまち推進センター』

の活動を通して地域住民の支え合いを基本に、独居高齢者の『見守り活動』や『ふれあい事業』『子育て支援活動』などに取り組んで参りました。今後の重点目標として町内会に『福祉推進委員会』を組織し、町内会と『福祉のまち』の連携した取り組みにより『大規模災害時の避難支援体制づくり』を推進していきます」

この方針に基づく平成30年度の事業計画案は原案通り可決されました。

日本ハムの札幌ドーム残留を要望

清田地区町連など清田区5町連と豊平区9町連



▲吉岡副市長に要望する清田区と豊平区の町連会長=3月9日、札幌市役所

北海道日本ハムファイターズは今年3月下旬、札幌ドームを撤退して2023年に北広島市に建設する新球場に本拠地を移す決定をしました。日本ハムのドーム撤退は、地下鉄東豊線の乗客減につながり、地下鉄の清田方面延長に影響が懸念されます。大変残念なニュースでした。

清田地区町連を含む清田区全5町連と豊平区全9町連の町連会長は今年3月9日(金)、連名で「札幌ドームを活かした日ハム新球場構想を求める」要望書を秋元札幌市長と日本ハム球団、親会社の日本ハムに提出

していました。

具体的に「札幌ドームの隣接地に日本ハムが求める天然芝の屋外野球場を建設し、寒い春と秋は札幌ドームを使い、夏は屋外野球場を使用するようにする」という構想も提案しました。

同様の要望書は昨年1月にも、清田地区町連はじめ清田区と豊平区の10町連などで構成する地下鉄東豊線建設促進期成会連合会として北海道日本ハムファイターズに提出していました。

残念ながら、私たちの願いは通じませんでしたが、引き続き、札幌ドームの活性化と周辺地域の活性化、地下鉄清田方面延伸には地域住民として強い関心を持っていきましょう。



除雪パートナーシップ 町内会負担が重過ぎる! 清田地区町連などが札幌市に改善要望



冬の除雪は様々な問題があります。札幌市の除雪パートナーシップの町内会負担が重くなりすぎていることは、とりわけ大きな問題です。冬の問題ですが、今から考えておくことが大事です。

清田、清田中央、里塚・美しが丘の3地区町内会連合会の会長は今年2月、札幌市と札幌市議会に負担が重過ぎる窮状を訴え、改善を要望しました。札幌市の除雪パートナーシップ制度を使って、地域の生活道路の排雪を行っている町内会は数多くありますが、町内会が負担する金額が年々上昇し続けており、町内会は悲鳴を上げています。

除雪パートナーシップ制度は、排雪費用を地域(町内会)と札幌市が負担して、受託排雪業者に1シーズン1回、地域の生活道路を排雪してもらうというものです。

平成4年に始まった制度で、現在、札幌市内2200の町内会のうち、1267町内会がこの制度を利用しています(平成28年度実績)。ところが、毎年、町内会が負担する「地域支払額」が増え続けているのです。

平成29年度の「地域支払額」は1km当たり48万6000円で、前年より2万円アップしました。平成24年度に1km当たり40万円台になってからわずか5年で8万円も値上がりしたので、まさに天井知らずです。

清田区内では、各町内会の排雪距離が平均で約3kmなので、1町内会当たり140万円~150万円の出費になっています。この5年間で24万円もの負担増です。そして町内会予算の概ね4割程度が排雪の「地域支払額」に消えているのが現状です。異常事態です。

清田区内の町内会では「地域支払額が過大なため、町内会事業を廃止するなど町内会活動に支障が出ている」といった声も聞かれます。平成30年度の冬は、なんとか改善してほしいものです。



▲冬の排雪作業

おしゃべりサロン 高齢者の交流の場を開催!

東真栄町内会

東真栄町内会では、平成28年5月から独居者や高齢夫婦、体の不自由な方、外との接触の少ない方、大規模災害時避難行動要支援者の方など高齢者の誰もが参加できる「おしゃべりサロン」を真栄地区会館で月に1回開催しています。

これは、同世代同士の安心感の中で、悩みや考えを話したり、新しい仲間作りをしたりして、生活の新たな楽しみの場として開催しているサロンです。



サロンを通して交流が生まれ、お互いを思い合い、心配な方などには、お互い声かけや訪問し合うようにもなり、高齢者同士の日常を支え合う地域での見守りネットワークにもつながっているようです。

昨年は5月から12月まで、毎月、カーリングやスカットボール、小物作りや映画鑑賞、健康講座など毎回、趣向を変えた催しものを行い、参加者に喜ばれています。

今年も5月から始まった「おしゃべりサロン」。脳活や歌声広場などを楽しんでいます。



夏まつりを休止 春のお花見会へ変更 —高齢化で負担を軽減—

新平岡町内会

新平岡町内会は、昭和55年から「町内仲良しまつり」を夏に西友清田店裏の区役所前通り小公園で実施してきました。午前中はパン食い競争、自転車遅乗り競争、班別対抗リレーなど盛りだくさんの出し物で賑わい、午後はカラオケ、焼肉食い放題で楽しく一日を過ごしました。

しかし、近年は役員もお手伝いも高齢化し、準備(テント、机、いす等の調達)・運営(焼肉、その他の食べ物、飲み物)・後始末(テントの撤取、テーブル・いすの撤去、返却)などい



ずれも負担が重くなっています。

そこで平成29年度からは「町内仲良しまつり」を休止し、春に花見会を実施することにしました。

まず朝に「町内会の一斉清掃」と清田区役所前通りの「花植え」を合わせて実施。終了後、区役所前通り小公園にて、八重桜の満開の下で町内会員、子ども会、睦寿会3世代でジンギスカン鍋を囲み、さまざまな話題で盛り上がり和やかなひと時をすごしました。

平成30年度は第2回で、5月20日(日)に実施しました。ポカポカ陽気に恵まれ、にぎわいました。



林中つりぼりに遠足

真栄第四町内会 そよかぜ子ども会

真栄第四町内会の「そよかぜ子ども会」は6月10日(日)、町内にある林中つりぼり(清田区清田369)に遠足に行き、ヤマベ釣りを体験しました。

参加したのは、子どもたちと付添いの父母、町内会役員ら総勢35名。町内会館前に集合し、点呼を取って徒歩で林中つりぼりに向かいました。林に囲まれた山部川沿いの道を約15分歩いて到着しました。

林中つりぼりでは、子供たちは一



人ずつ釣り竿を借りて、早速、ヤマベ釣りに挑戦しました。間もなく、次々とヤマベがかりました。

魚釣りは初めてという子どもも多く、ヤマベを釣り上げるたびに、子どもたちから大きな歓声が沸きあがりました。釣ったヤマベは、その場で炭火で塩焼きにしてもいい、みんなで食べました。野趣あふれる体験でした。

林中つりぼりは、真栄第四町内会にある自然に囲まれた釣り堀で、自然の中でヤマベ釣りを楽しめ、塩焼きで食べることができます。



崖の彫刻

有明小学校の 児童たち

有明小学校(児童数98人)は6月8日(金)、全校児童が参加して裏山の火山灰の崖を削って雄大な絵を描く「崖の彫刻」を実施しました。自然の雄大さを感じながら友達と協力して一つの作品を作り上げることの大切さと喜びを感じてもらおうと毎年、有明小が独自に初夏に行っている行事です。今年も45回目でした。

児童たちは、学校前から2列にな



▲崖の彫刻に取り組み児童たち

登山道を登りました。約1キロ、25分ほどで現場の崖に到着しました。辺り一帯は緑の樹木に囲まれていますが、崖の部分は長さ50メートル、高さ10メートルにわたって火山灰がむき出しの急斜面になっています。

児童たちは学年混合の6グループに分かれて、ロープをつたって崖によじ登り、ボールやくぎぬき、片手クワ、シャベルなどで崖を削って作品作りに1時間半ほど取り組みました。今年、児童たちが崖に描いたのは、シイタケやアライグマ、カメ、アカゲラ、リス、ヘビの絵でした。

有明小学校は、校区外からも入学・通学できる札幌市の「特任入学指定校」です。自然を生かした特別授業を行っています。



▲出来上がった作品をバックに

区民センター前で花植えとゴミ拾い

清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会

清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会は6月2日(土)、清田区民センター周辺で花植えとごみ拾いの環境美化活動を行いました。同協議会メンバーの地

域住民ら約80人が参加しました。清田区民センター周辺にある40カ所の街路樹根にベチュニアやマリーゴールドなど6種類計1020株の花苗を植えました。200メートルの歩道

は色とりどりの花で美しく彩られました。

花植えが終わると次は、清田緑地と清田公園のごみ拾いを行いました。



平成30年度 清田地区町内会連合会 顧問・役員名簿

役職	氏名	備考
顧問	長岡 武夫	清田町内会
	紙 栄吉	東真栄町内会
会長	牧野 晃	真栄第四町内会
副会長	猪野毛昭男	清田町内会会長・福まち運営委員長
	齊藤 卓三	真栄第四町内会会長
	住吉 誠一	真栄第一町内会
		清田区スポーツ推進委員会会長
監事	畠山 昇	新平岡町内会
	設楽 省三	真栄第四町内会
総務部長	齊藤 卓三	副会長・真栄第四町内会会長
財務部長	角口 八郎	東真栄町内会
福祉厚生部長	前口 保八	真栄第二町内会
保健衛生部長	山本 忠利	清田町内会
防災・防犯部長	横江 光良	清田有楽町内会
交通安全対策部長	本間 重輝	新平岡町内会
青少年育成部長	田上 雄二	真栄第一町内会
女性部長	三上 美由紀	東真栄町内会
体育部長	友 峯 信	真栄団地町内会
広報部長	川 島 亨	真栄第四町内会
理事	猪野毛昭男	清田町内会会長・福まち運営委員長
	小澤 和明	シアス羊ヶ丘通り町内会会長
	大谷 邦昭	清田有楽町内会会長
	高橋 弘吉	新平岡町内会会長
	森 雅 司	真栄第一町内会会長
	片 倉 武吉	真栄第二町内会会長
	畑 中 悟利	真栄第三町内会会長
	齊藤 卓三	真栄第四町内会会長
	小林 秀雄	東真栄町内会会長
	遠藤 定一	真栄団地町内会会長
	伊澤 興	美しが丘町内会会長
	川 瀬 俊昭	有明町内会会長

平成30年度 清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会 役員名簿

役職	氏名	選出母体
会長	牧野 晃	清田地区町連会長
副会長	阿部 哲夫	清田地区不法投棄ボランティア監視協議会会長
	齊藤 修明	清田地区商工振興会会長
	櫻 修二	あしりべつ川の会理事長
事務局 長	住吉 誠一	清田地区町連副会長
社会 計	田崎 克文	清田地区社会福祉協議会事務局 長
監 事	設楽 省三	清田地区町連監事

平成30年度 清田地区社会福祉協議会 役員名簿

役職	氏名	備考
会長	牧野 晃	清田地区町連会長
副会長	齊藤 卓三	真栄第四町内会
	住吉 誠一	真栄第一町内会
事務局 長	田崎 克文	真栄第三町内会
社会 計	角口 八郎	東真栄町内会
監 事	設楽 省三	真栄第四町内会
	山本 顯之進	真栄第一町内会

平成30年度 清田地区福祉のまち推進センター 役員名簿

役職	氏名	選出母体等
運営委員会委員長	猪野毛昭男	清田地区町連副会長・清田町内会会長
副委員長	三上 将之	清田地区老連協会 長
	小山 眞	清田地区民児協会 長
広報部長	清水 延明	エンブレム清田自治町内会顧問
ふれあい部長	石 幡 清子	真栄第一町内会女性部長
研修部長	小山 眞	
生活支援部長	阿部 優理子	東真栄町内会副会長

今年度、清田地区町連の広報部を担当させていただくことになりました。広報部のメンバーにも大分入れ替わりました。不慣れですが、よろしくお願いま

す。町連広報紙「清流あしりべつ」をリニューアルしました。少し大きな紙型にして、字も少し大きくし、横組みにしてみました。いかがでしょうか。先輩たちが築いてきた「清流あしりべつ」の

きよた文苑

俳句

学童の背にピカピカのランドセル
丹頂や空に呼語する恋乱舞
春風にのって呼語するあけびばり
水浅葱花見にぎわう春の宵

短歌

あしりべつ清田の歴史刻みつ、
老ゆる若人幸せはこぶ
新年度春の匂いがまぶしくて
夢と希望と元氣と知恵と

【語釈】
呼語
声をあげて呼び合うこと

【水浅葱】
色のこと

風光る鳴くウグイスの谷渡り
恋のしくさか喜ぶさまか
山間いにまだらに残る牛模様
水の流れに春風誘う

藻岩山芽吹く木の芽のふくらみに
そつと口づけ飛びかう小鳥

まちづくりセンター

まちづくりセンターとは、市民に市政情報を提供し、地域のまちづくりを支援する市役所の最前線の窓口です。

現在市内には、87のまちづくりセンターがあり、清田区内には、清田、清田中央、北野、平岡、里塚・美しが丘の5つのまちづくりセンターがあります。まちづくりセンターは概ね1連合町内会区域に1か所配置されており、区民センターや地区センター、地区会館などのコミュニティー施設を併設している施設が多いです。多くは所長1名と支援員2名が配置されています。

清田まちづくりセンターは、清田区民センター(清田1条2丁目)と同じ建物に併設されており、杉本所長と支援員の金澤さん、菲澤さん3人の職員がおります。センター内には、「清田地区町内会連合会」、「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」、「地下鉄東豊線建設促進期成会連合会」、「あしりべつ郷土館運営委員会」などの事務局も入っております。

また「清田地区福祉のまち推進

センター」の事務所も隣接しています。

清田まちづくりセンターでは現在、平成28年度より「清田地区町連」が熱心に取り組んでいる「避難行動要支援者名簿を活用した大規模災害発生時の災害弱者支援体制づくり」や「福祉のまち推進センター」がここ数年傾注している「一人暮らし高齢者の見守り体制づくり」の応援に力を入れています。

また、「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」や、「地下鉄東豊線建設促進期成会連合会」、「あしりべつ郷土館運営委員会」事務局業務のサポートにも取り組んでいます。

地域のまちづくりのご相談等にご気軽にお立ち寄りください。



▲清田まちづくりセンターの杉本所長と職員さん

広報部
川島 亨 / 真栄第四町内会
小林 義次 / 真栄団地町内会
嵐 信 / 美しが丘町内会
清水 延明 / エンブレム清田自治町内会
芳賀 正後 / 新平岡町内会